



ユニットプライス規定集

読込手順

ユニット プライス

ユニットプライス規定集読込手順

ユニットプライス規定集をご使用いただくために、ユニットプライスデータとプライス条件マスタデータの復帰作業を行う必要があります。下記手順に従いデータの読込を行って下さい。

●データの読込を行う前に・・・

GaiaMX のバージョンが、**Version7.7 Build0.20** 以降の状態
で実行して下さい。



GaiaMX を起動し、メニューバーの [ヘルプ] - [バージョン情報] をクリックするとバージョン情報が確認できます。上記バージョンより古い場合は最新のプログラムを Gaia チャンネルよりダウンロードして下さい。



クライアントの「スタンドアロンモード」で同じデータを使用するには、サーバーにて読込を行い、その後各クライアントにて、データの同期作業を行って下さい。

1. 「GaiaMX 起動メニュー」を起動する

[スタート] - [プログラム] - [GaiaMX Server] - [GaiaMX 起動メニュー] をクリックします。

「GaiaMX 起動メニュー」画面が表示されます。



GaiaMX Client から作業される場合は、クライアントをクライアント/サーバーモードで起動していただき、サーバーデータに更新を行って下さい。



GaiaMX もしくは、GaiaMX 関係のアプリケーションが起動している場合は、それらを終了して下さい。

2. データ管理を起動する

[データ管理] をクリックします。

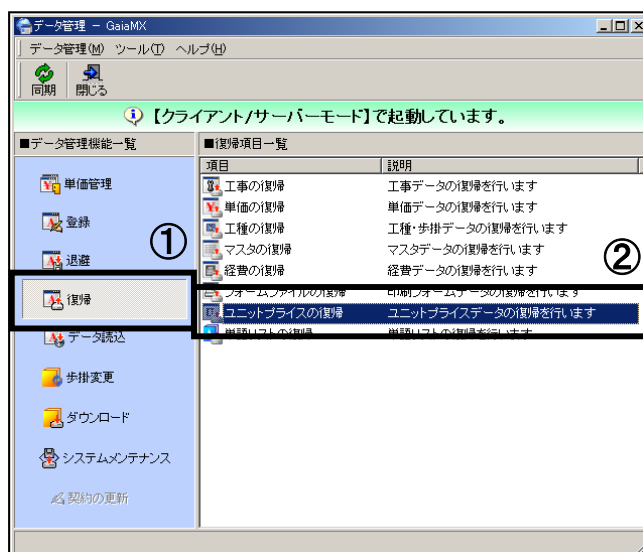


■ユニットプライスデータを復帰する

3. ユニットプライスの復帰を選択する

① 「データ管理」画面にて、画面左側の「データ管理機能一覧」より、[復帰] をクリックします。

② 画面右側の「復帰項目一覧」より、「ユニットプライスの復帰」をダブルクリックします。

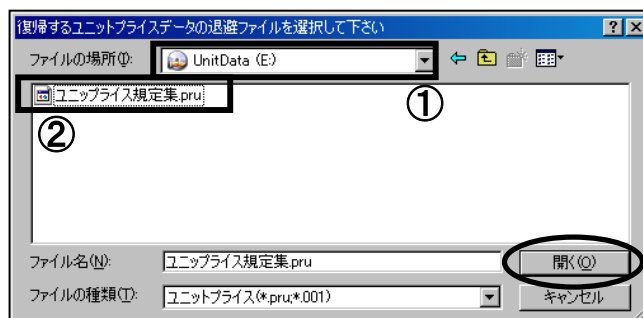


4. 復帰するデータを選択する

ユニットプライスデータの入った CD を、CD-ROM ドライブにセットします。

ファイルの場所にて、「CD-ROM ドライブ」(①) を選択し、CD 内の「ユニットプライス規定集 .pru」(②) をクリックします。

[開く] をクリックします。

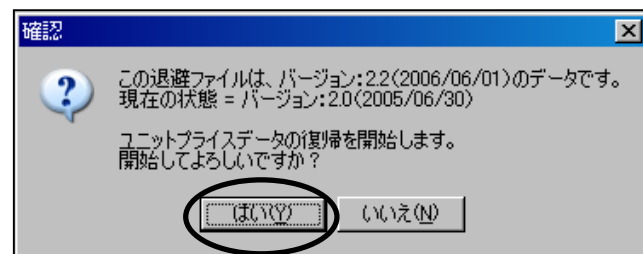


「ファイルの場所」に現在開いているドライブもしくはフォルダが表示されます。

右図の確認画面が表示されます。
(バージョンは、右画面と異なる場合があります。)

[はい] をクリックします。

ユニットプライスデータの復帰が開始されます。

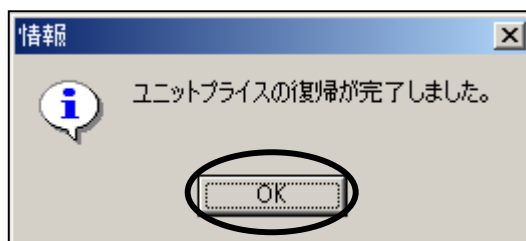


ユニットプライスデータは上書きで復帰されます。
以前にユニット定義集を読み込んでいただいている場合は、最新のユニット規定集のデータで上書きされますので、ご了承下さい。

5. ユニットプライスデータの復帰が完了する

右図のメッセージが表示されると、ユニットプライスデータの復帰は完了です。

[OK] をクリックします。
「データ管理」画面に戻ります。

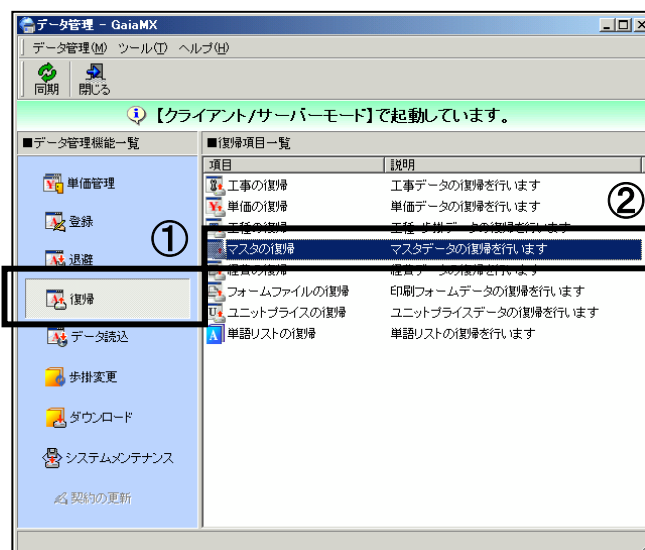


■ プライス条件マスタデータを復帰する

6. マスタの復帰を選択する

① 「データ管理」画面左側の「データ管理機能一覧」より、[復帰] をクリックします。

② 画面右側の「復帰項目一覧」より、「マスタの復帰」をダブルクリックします。



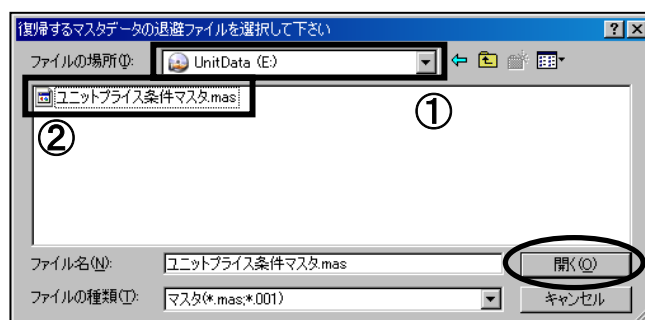
7. 復帰するデータを選択する

ファイルの場所にて、「CD-ROM ドライブ」(①) を選択し、CD 内の「ユニットプライス条件マスタ.mas」(②) をクリックします。

[開く] をクリックします。



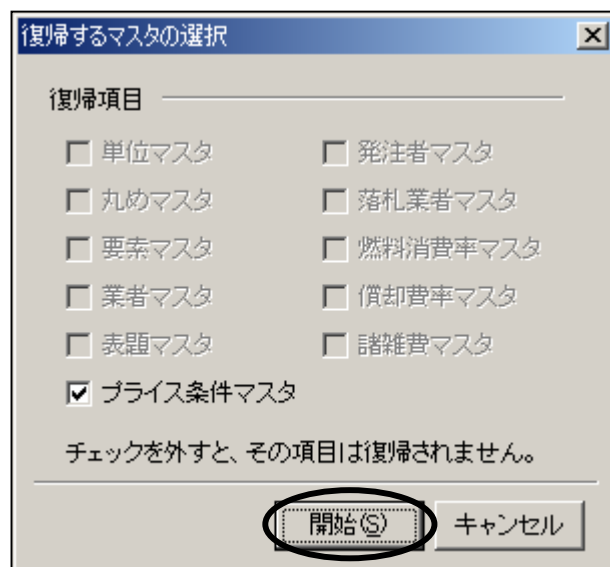
「ファイルの場所」に現在開いているドライブもしくはフォルダが表示されます。



8. 復帰するマスタを選択する

「復帰するマスタの選択」画面が表示されます。
「プライス条件マスタ」にチェックが付いていることを確認し、[開始] をクリックします。

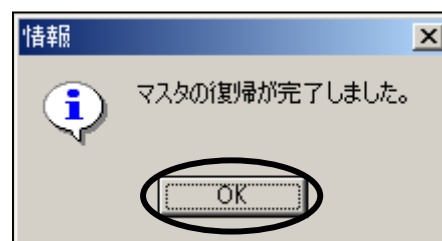
マスタの復帰が開始されます。



9. マスタの復帰が完了する

右図のメッセージが表示されると、マスタの復帰は完了です。

[OK] をクリックします。
「データ管理」画面に戻ります。



ユニットプライス工事の作成方法は、
機能編マニュアル「[第13章 ユニットプライス \(GaiaMX のみ\) ユニットプライス工事を作成する \(P.13-2-1\)](#)」をご参照下さい。